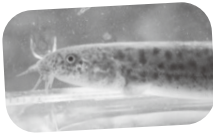


# 環境総合研究所では 公共用水域の生物調査・研究に取り組んでいます

## 川崎市内河川の親水施設調査

生きものにはきれいな川でしか生きられないものから多少汚くても生きられるものまで様々います。そのため、どんな生きものが生息しているかを調べることで水辺の環境を調べることができます。



環境総合研究所では、人と水のふれあいの場「親水施設」の生物調査を実施しています。調査結果は冊子の「かわさき水辺の生きもの」や「環境総合研究所年報」（研究所ホームページ掲載）で紹介しています。



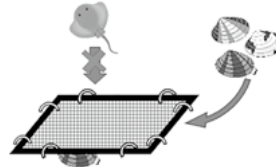
【親水施設調査の様子】

## 川崎市東扇島東公園人工海浜におけるアサリ個体数回復実証実験

東扇島人工海浜にはアサリが生息しており、潮干狩りができる親水施設となっていますが、近年アサリは少なくなってしまうています。

そこで、被覆網を用いて、アサリの個体数回復が確認できるか実験を行いました。その結果、被覆網設置は、魚等のアサリを捕食する生物や過剰な潮干狩り等からアサリを保護し、個体数回復及び成長に効果的であることが確認されました。

アサリが増えることにより、水質浄化機能の向上及び生物多様性の保全に寄与するほか、潮干狩りスポットとして賑やかになることが期待されます。詳しくは研究所ホームページや「環境総合研究所年報」で紹介しています。



【東扇島人工海浜】



【サンプリングしたアサリ】

川崎市環境総合研究所

検索



※東扇島人工海浜では、資源保護のため、殻の長さ2cm以下のアサリは採取しないようにお願いします。

問い合わせ：環境総合研究所環境リスク調査課 TEL 276-8649 FAX 288-3156



お知らせ

## 「CC川崎エコ会議」の趣旨に賛同する団体、企業の会員を募集しています!

CC川崎エコ会議（川崎温暖化対策推進会議）は、市内の多様な主体（市民、事業者、教育機関、行政等）による地球温暖化対策の推進ネットワークで、現在 108 団体が参加しています。「スマートライフスタイル大賞」や「CC川崎エコ会議シンポジウム」、HP及びメールマガジンによる情報発信等を通じて、市内の様々な地球温暖化対策を推進しています。

また、川崎市では、2050年の脱炭素社会の実現を目指すため、令和2年11月、脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」を策定しました。CC川崎エコ会議（川崎温暖化対策推進会議）は脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」を推進するため、市民、事業者など、多様な主体が「丸」となって様々な取組を展開していきます。

「CC川崎エコ会議」に賛同し、2050年の脱炭素社会に向けて、一緒に取り組んでいきませんか？



- 会員条件：CC川崎エコ会議の趣旨に賛同するすべての団体、企業
- 会費：無料
- 参加方法：CCかわさきホームページにあります参加フォームから申込んで下さい。
- 参加することで：
  - ・市民、事業者、大学等のネットワークへの参加
  - ・CC川崎エコ会議が主催するイベント等への参加
  - ・ホームページに会員の活動情報を掲載
  - ・メールマガジンの送付



CCかわさき  
ホームページ

問い合わせ：環境局地球環境推進室 TEL 200-3871 FAX 200-3921